



NTTの賃下げが止まらない

私は、4年前に50歳退職再雇用制度を受入れ、地元で留まりました。その時に賃金3割カットになり、現在に至ります。

50歳までの賃金と単純に較べると13万円ほど減っています。これは、基準内賃金の資格・成果加算に各種手当（成果・扶養・職務）が軒並み減額されたためです。

NTTでは2006年度に年齢給を廃止し、資格・成果部分に移行しました。賃上げは、春闘で闘うのではなく、自分で申告したチャレンジシートを基に、毎年上長の査定で決まります。

そのうち、業績評価でTさんは、二度の1評価で一時金はもとより、成果手当が下っています。その事に異議を申し立て、現在裁判闘争をしています。私も同じように（1評価は受けていないが）毎年2回ほど上下しています。

昨年度から廃止された、50歳退職再雇用制度ですが、現NTT西日本社員で毎年半年ごとに3000円ずつ下っている方がいます。別に1評価は受けていませんが、60歳後の賃金を捻出するため、会社が勝手に賃金を下げています。

また、非正規社員の賃上げはほとんどありません。

NTTは、この11年間で市場から自社株買いました、2兆円2千億円超の株券を消却しています（株券として手元に残らない、市場にも出ない）。株式購入の利益はまるまる政府（財界）に入ります。当然その資金は私たちが、汗水垂らして稼いだものです。

このように、NTTは正規社員の賃金を下げ、さらに非正規社員を安くこき使う事によって、政府（財界）のため奉仕しているのです。



『月刊まなぶ』企画編集委員 池内 康宏